本文

特 3116 5 号 本文

官報 第三千百六十五號 明治二十七年一月十九日 金曜日 内閣官報局

○内閣訓令

内閣訓令第一號　　各省院廳

明治十九年第拾號達中「局課ノ長」ヲ「大臣官房又ハ局課ノ高等官」ニ「内閣統計局」ヲ「内閣統計課」ニ改ム

鐵道局及北海道廳ニハ自今統計主任官ヲ置カス

明治二十七年一月十九日　　内閣總理大臣　伯爵伊藤博文

内閣訓令第一號參照

第拾號達（明治十九年二月十五日）抄錄

統計ノ材料ヲ改良シ其調査ノ敏順ヲ速ニスル爲メ各省院廳ノ統計或ハ報告ヲ主管編製スル局課ノ長一名ヲ以テ統計主任トナシ常ニ内閣統計局ト協議シ事務ノ便利ヲ計ルヘシ

○訓令

農商務省訓令第三號

會計規則第五十二條第三項ニ依リ當省所管獸疫費仕拂命令官ヨリ提出スル支出計算書及證憑書類ハ同月中ヲ期シ其廳ヲ發シ直ニ會計檢査院ニ送付スヘシ

但運輸不便土地遠隔等ノタメ該期限ニ依リ難キモノハ豫メ當省ヘ申出ヘシ

明治二十七年一月十九日　　農商務大臣　伯爵後藤象二郎

農商務省訓令第三號參照

勅令第六十號會計規則（明治二十二年五月一日官報）抄錄

第五十二條第三項

仕拂命令官ハ會計檢査院ニ證明ノ爲メ毎月支出ノ計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月十五日マテニ其主管大臣ニ送付シ主管大臣ハ之ヲ會計檢査院ニ送付スヘシ

警視廳　北海道廳　府縣（東京府ヲ除ク）

○達

宮内省達甲第一號

御陵墓守長ハ自今判任ヲ以テ待遇ス

明治二十七年一月十九日　　宮内大臣　子爵土方久元

奉勅

○告示

内務省告示第十二號

一明治二十七年豐年節用　一冊　　大阪府西成郡川田村　文事會　發行

右出版物ハ略本暦類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治二十七年一月十九日　　内務大臣　伯爵井上馨

遞信省告示第六號

來二月一日ヨリ膽振國山越郡長万部後志國島牧郡原歌及釧路國厚岸郡太田ノ三郵便局ヲ三等郵便電信局トシ左記ノ通リ改稱ス

明治二十七年一月十九日　　遞信大臣　伯爵黑田清隆

舊稱	改稱	舊稱	改稱
長万部郵便局	長万部郵便電信局	原歌郵便局	原歌郵便電信局
太田郵便局	太田郵便電信局		

遞信省告示第七號

來二月一日ヨリ釧路國厚岸郡濱中郵便電信局ヲ三等郵便局トシ濱中郵便局ト改稱ス

明治二十七年一月十九日　　遞信大臣　伯爵黑田清隆

遞信省告示第八號

來二月一日ヨリ左ノ郵便受取所ヲ移轉改稱ス

明治二十七年一月十九日　　遞信大臣　伯爵黑田清隆

國市名	舊稱	移轉位置	改稱
尾張國名古屋市	名古屋裏門前町郵便受取所	尾張國名古屋市南園町	南園町郵便受取所

遞信省告示第九號

本月三十一日限リ左ノ郵便受取所ヲ廢ス

明治二十七年一月十九日　　遞信大臣　伯爵黑田清隆

尾張國名古屋市名古屋大曾根町郵便受取所

○敍任及辭令

○明治二十七年一月十七日

敍正六位　　從六位　廣瀨敬四郎

特旨ヲ以テ位一級被進（一月十七日宮內省）

（各通）

賜一等給（八月十陸軍省）

五級俸下賜　神奈川縣收稅長從六位　廣瀨敬四郎

非職ヲ命ス（以上一月十七日文部省）

四級俸下賜　陸軍歩兵大尉　江橋貞雄

五級俸下賜　陸軍歩兵中尉　志波今朝一

七級俸下賜

六級俸下賜

（各通）

七級俸下賜（以上一月十七日遞信省）

京都府尋常師範學校長　清水誠吾

第三高等中學校教授　中久木信順

遞信技師工學博士　仙石貢

遞信省鐵道事務官　內藤彦介

遞信省鐵道事務官　春日秀朝

遞信省鐵道技師　野村龍太郎

遞信省鐵道技師　長江種同

遞信省鐵道技師　鵜尾謹親

遞信省鐵道技師　宮崎航次

正誤

昨十八日欄下段初行十六日八十七日、同三行春田、秀朝ハ春日、秀則ノ孰モ報告誤　內閣書記官

○宮廷錄事

○歌御會始　昨十八日歌御會始　御製竝ニ詠進左ノ如シ

梅花先春

御製

はるのせもふくゝゝちゝてあらさまほしとゝの初日よ匂ふ梅のゝ

皇后宮御歌

さゝのゝるあさ日ほとけき大庭よ春もまおあへす匂ふ梅のゝ

大勳位晃親王

よのとるをまさてとやくもさほよりくもゐ此庭の梅の初花

宮內大臣從二位勳一等子爵臣源朝臣久元上

すゝミゆくゝよにあらひて梅の花とるをもあさす咲匂ひ入り

侍從長兼內大臣正二位勳一等侯爵臣藤原朝臣實則上

あらさまのとゝのとゝの日よさほよゝふうめをとるにもかとらさりけり

從一位勳二等臣藤原朝臣實德上

講頌

のとのなる雲ゐ此庭の梅の花とるをもまさてゝゝろひよりり

式部長從二位勳二等侯爵臣藤原朝臣直大上

ほらさまのとゝさつやのて咲よりり春をもまさゐ梅のとつ花

皇太后宮大夫從三位勳二等子爵臣平朝臣孫七郎上

うくひすのつとさこほまる雪の中よ春をもまさて梅の花さく

皇后宮大夫從三位勳二等子爵臣源朝臣敬三上

あつさもゝはるさつそらよさほんてさくのゝそのゝ梅のとつ花

題者點者　御歌所長宮中顧問官從三位勳三等男爵臣藤原朝臣正風上

雪のうちよさほさるうめもとる風のふくをまちてやよゝのをるらん

奉行　御歌所參候正三位勳四等伯爵臣源朝臣詮上

とるかせのふくをまさてもよほふ哉とゝのたちえ此梅のとつ花

讀師　御歌所參候非職侍從從二位勳六等伯爵臣藤原朝臣公允上

ゝそのふ此のせとまさほよ春めきてとゝのとゝめに匂ふ梅のゝ

奉行　御歌所參候從三位伯爵臣藤原朝臣爲紀上

のとられるとゝのとゝめと冬あのらゝそのゝ梅とほころひよりり

從三位伯爵臣源朝臣重朝上

講頌

大御代のもさんきとゝはさおよ此とゝそのゝ梅と冬こもりせす

從二位子爵臣藤原朝臣隨光上

講師

ふくかせのさむさも為らす大庭よさほいてよりり梅のとつ花

御歌所參候雅樂部副長從三位子爵臣藤原朝臣基正上

講頌

うめ此とあとるよりさほよ匂ハすとゝのとゝめに何をかさゝん

御歌所參候侍從從三位勳六等子爵臣源朝臣有良上

發聲

あらさまのとゝのとゝめにうめの花のをれと春のこゝろ社すれ

從四位男爵臣物部連有卿上

講頌

春またて不ゝ忍む梅と君の代のとゝのとゝめよあふやうれゝさ

權掌侍從六位大藏以登子上

預撰

とるかせもまさふきそめぬ大庭のいつこなるらん梅のゝそする

東京府士族佐々木濱子上

とるあさて不ゝ忍むうめと君の代のとゝの始やうれゝのるらん

三重縣士族宇佐美祐次上

大ゝよのめゝをうけてさく梅と春の光もさのゝあさりんり

廣島縣士族長尾尙六上

おゝれぬを大ゝ心とゝそのふ此うめと春日をまさて咲らん

鹿兒島縣士族松元時直上

梅の花とるよりさほよ咲出てひとりのとんきのゝ匂ひつゝ

京都府平民山添直治郎上

いさをりてをうめよさゝんうめの花あとにとるあつえさも有んり

○彙報

○官廳事項

○官吏發著

東宮亮足立正聲ハ願濟ノ上近縣旅行トシテ一昨十七日出發セリ

曩ニ鳥取縣外三縣ヘ出張シタル衞生試驗所技師中濱東一郎ハ本月十五日歸京セリ

第六師團監督部長陸軍二等監督片山中行ハ各部各隊臨時巡廻ノタメ福岡小倉下ノ關地方ニ向ヒ本月十四日該地出發セリ

犬塚宮城控訴院檢事長ハ本月十五日、神戸地方裁判所檢事正草野宜陰、松山地方裁判所檢事正谷新助、千葉地方裁判所檢事正大井治義、福井地方裁判所檢事正中西眉雄、長野地方裁判所檢事正藤崎又三、鳥取地方裁判所檢事正戶田成行、高松地方裁判所檢事正世古祐次郎ハ同十六日鹿兒島地方裁判所檢事正今泉利春ハ一昨十七日福岡地方裁判所檢事正羽野知顯ハ昨十八日孰モ上京セリ

曾我部岐阜縣知事、兵頭千葉縣知事、田沼山梨縣知事ハ一昨十七日、淺田長野縣知事、高崎茨城縣知事ハ昨十八日孰モ上京セリ

○委員　京都府ニ於テハ書記官一坂俊太郎ニ文官普通試驗委員長ヲ命シ、參事官森本後凋ノ同委員長ヲ免シ更ニ同委員ヲ命シ、收稅長鳥海弘毅、警部長三橋勝到、典獄六角耕雲等ニ同委員ヲ命セリ、又參事官森本後凋等ニ小學校教員銓衡委員ヲ命セリ

○常置度量衡檢定所增設　新潟縣ニ於テハ常置度量衡檢定所ヲ古志郡長岡町ニ增設シ本月十五日ヨリ開始セリ

○支出證明規程ニ關スル計算書調製方ノ件照會　昨二十六年十二月十八日附ヲ以テ茨城縣知事ヨリ會計檢査院部長ヘ（一）會計法第二十三條ニ依レハ誤拂過度ト爲リタル金額ノ返納及出納ノ完結シタル年度ニ屬スル收入等ハ現年度ノ歲入ニ編入シ定額戻入ノ如ク仕拂額ヨリ差引計算ヲ爲スヘキモノニアラス然ルニ計算書式中現金前渡仕拂命令發行濟額ノ部本月返納高ノ欄內歲入ヘ納付ノ區ヲ設ケアリテ發行高ヨリ歲入納付額ヲ差引計算スヘキモノヽ如クナレトモ右ハ如何ナル旨趣ナルヤ（二）二十七年一月分計算書調製ニ際シ前月迄發行高ノ區ヘハ本年十二月迄會計主務官ニ於テ調定シタル金額ヲ仕拂命令發行濟額ノ部及現金前渡仕拂命令發行濟額ノ部當該區ヘ分割掲載スヘキヤ（三）二十七年一月一日以降ハ金庫所在地外ヘ送金ノ場合ニハ仕拂命令ヲ金庫ニ送付シ之ニ對スル金庫領收證書ヲ徵シ該證書ヲ以テ支出ノ證憑書ト爲スヘキニ附キテハ同日以後領收證書未到達ノ生スヘキ場合ナシ然ルニ領收證書未到達內譯ノ部ヲ設ケラレタルハ如何ナル場合ナルヤ（四）前項金庫所在地外ヘ送金ノ仕拂命令ニ對シ金庫ヨリ徵スル領收證書ハ單ニ金額仕拂命令番號ヲ記載シアルノミナレハ別ニ算出ノ基ク所ヲ詳悉シタル仕譯書ヲ添附證明セサルヲ得サル儀ナレトモ事由ノ簡單ナルモノハ該領收證書ヘ債主氏名竝ニ事由ヲ附記シ別ニ仕譯書ヲ添附セサルモ差支ナキヤ（五）會計主務官ヨリハ本月分仕拂內譯書及本月迄ノ支出計算書ヲ從前ノ證明規程ニ依リ調製提出セシムヘキヤ（六）前項提出スヘキモノトセハ證書未到達ニ屬スルモノハ爾後到達ニ從ヒ主務官ニ於テ整理提出セシムヘキヤ或ハ仕拂命令官ニ於テ引繼ヲ受ケ同官ヨリ新規程ニ依リ領收證書未到達內譯ノ部ニ掲載整理スヘキヤ照會セシニ一昨十七日（一）現金前渡仕拂命令發行濟額ノ部本月返納高ノ欄內歲入納付額ヲ差引計算シアルハ直ニ仕拂計算書ト符合ヲ認ムルノ便ト爲シタル儀ナリ（二）意見ノ通（三）支出證明規程第五條ニ據リ正當受取人ノ領收證書ヲ以テ證明スヘキ儀ニ附キ領收證書未到達ノ內譯ヲ要セリ（四）前項ノ趣旨ニ據リ自ラ明了ニ歸スヘシ（五）意見ノ通（六）前段意見ノ通但シ便宜ノタメ仕拂命令官ニ於テ整理スルハ妨ナキ旨回答セリ

○官吏死去　陸軍歩兵中尉正七位土田三次郎ハ本月七日死去セリ

警察

○停止　昨十八日發行ノ明治新聞第三十五號ハ治安ヲ妨害スルモノト認メラレ自今發行停止且ツ同號未配布ノ分賣頒布ヲ禁セラレタリ

財政

○備荒儲蓄金收支精算額　埼玉縣ニ於ケル明治二十五年度備荒儲蓄收支精算額ハ左ノ如シ（表中△印ハ增）

收入

費目	精算額	豫算額	比較增減
前年度ヨリ越高	円 一	円	円
地租賦與返納	二九、四二一・二三	二九、九四一・二六	△五二〇・三三
合計	二九、四二一・二三	二九、九四一・二六	△五二〇・三三

支出

費目	精算額	豫算額	比較增減
救助費	一〇、三二六・五五	一、九四一・九六	△八、三八四・五九
地租賦與返納	一〇、〇〇〇・〇〇〇	一、〇〇〇・〇〇〇	△九、〇〇〇・〇〇〇
儲蓄費	五〇・〇一二	〇〇・〇一二	△五〇・〇一二
合計	二〇、三五六・五五	二、九四一・九六	△一七、四一四・五九

公債證書賣入代金證書戻　一〇、〇九九・〇〇　一〇、〇九九・〇〇

差引繰下戻　九、二五六・五五　六、七二六・九六　△二、五二九・五九

○木杯褒狀褒詞下賜　昨二十六年十二月一日賞勳局ニ於テ木杯一組ヲ下賜セシ者左ノ如シ

正七位勳五等　堀部久勝　滋賀縣彥根常中學校生徒用費錢勝求費トシテ金百圓寄付

又同日同局ニ於テ木杯一箇ヲ下賜セシ者左ノ如シ

從六位勳五等　奧山義章　伊豫國北宇和郡吉田電信局創設費トシテ金十圓寄付

正三位勳二等公爵　岩倉具定　帝國博物館ヘ製鐵十四種獻納

正八位　大多和可也　周防國都濃郡徳山村岐陽高等尋常小學校改築費トシテ金十圓寄付

從六位勳五等　伊集院五郎　帝國博物館ヘ紀州產牝鹿一頭獻納

從四位　丸山作樂　帝國博物館ヘ朝鮮國碑一箇獻納

第 3165 号

從三位勳一等法學博士　箕作　麟祥

帝國博物館（北海道產狗一頭獻納　正五位侍講　吉井　幸藏

帝國博物館（佛國製マッチ切器械一箇獻納　從七位　西川　耕作

羽前國西村山郡寒河江電信局創設費トシテ金十圓寄付　從七位　吉野　十郎

八王子區裁判所中野出張所建築費トシテ金十圓寄付　正五位　木邊　淳慈

滋賀縣尋常師範學校著書用トシテ丹鳥義書一部卸チ百五十三冊寄付　正七位　後藤　松吉郎

加賀國江沼郡大聖寺小學校基本財產中へ金十圓寄付　正七位　吉田　波雄

又同日同局ニ於テ褒狀ヲ下賜セシ者左ノ如シ

伯耆國會見郡米子町明道尋常小學校二十六年度建築費トシテ金一圓寄付　從七位　湊　岡崎　平內　正則

（各通）

伯耆國會見郡米子町明道尋常小學校二十六年度建築ノ節來海四半石十枚寄付　從七位　湊　岡崎　平內　正則

本年二月陸前國本吉郡本吉村字志津川失火ノ節罹災者救助トシテ金二圓九十錢施與　正八位　鴨山　正志

明治二十五年十二月靜岡市字町三町目外四箇町失火ノ節罹災者救助トシテ金二圓施與　正八位　山下　奧作

伊豫國北宇和郡吉田電信局創設費トシテ金八圓寄付　從五位子爵　伊達　宗定

前同文但シ金七圓寄付　從五位子爵　伊達　宗定

又同日同局ニ於テ褒詞ヲ下賜セシ者左ノ如シ

帝國博物館（介化石及花崗石各一箇獻納　從五位勳五等　肝付　兼行

○陸海軍

○軍艦發著　常備艦隊軍艦嚴島ハ昨十八日横須賀港ニ向ヒ横賀港拔錨　横須賀鎭守府所管軍艦橋立ハ同日横須賀港ニ向ヒ兵庫港拔錨　同練習艦天城ハ一昨十七日館山灣ヘ投錨昨十八日同所拔錨　吳鎭守府所管練習艦金剛ハ一昨十七日神戶港ニ向ヒ品海ヲ拔錨セリ（海軍省）

○日本赤十字社錄事

幻燈會　本月六日本社奈良縣委員部ニ於テハ同縣吉野郡下市町長山本氏ノ請求ニ依リ委員ヲ派シ大字下市會所ニ於テ赤十字幻燈會ヲ開キシニ參觀者千餘名終始靜肅ニ孰モ社旨ヲ感得シテ解散セリ（宮內省）

從六位　外村　宇兵衛

明治二十四年十月震災ノ節滋賀縣下被害者救助トシテ金四十圓施與　從四位男爵　松國　尙遠

帝國奈良博物館ヘ同志八名ト俱ニ八窓茶室一棟寄付　正六位勳四等　花岡　正貞

明治二十四年中福岡縣下洪水ノ節被害窮民救助トシテ金十圓施與　從七位勳五等　佐藤　秀行

伊豫國桑名郡桑名高等小學校建築費トシテ金十圓寄付　正七位　松岡　利器

伊豫國桑名郡桑名高等小學校建築費中へ金十五圓及幕一張額一面寄付　從七位　小倉　美佐雄

羅四高等中學校創立費トシテ金二十圓寄付　從七位　藥師寺　篤好

（各通）

前同文但シ金五圓寄付　從七位　藥師寺　篤好　正八位　山內　豐盈

前同文但シ金三圓寄付　從七位　大村　直道

前同文但シ金二圓寄付　從七位　杉山　岩三郎

帝國博物館ヘ同一張矢二本獻納　從七位　久保　敏樹

明治二十四年十月震災ノ節滋賀縣下被害者救助トシテ金一圓施與　正八位　竹中　節

本年四月丹波國何鹿郡中上林村字八津合失火ノ節罹災者救助トシテ金三圓施與

○學事

○地震報告　帝國大學ヨリ地震學上取調ノタメ本月十三日愛知縣ニ出張セシメタル理科大學講師理學士大森房吉ヨリ今回該縣下地震ノ概況左ノ如ク同學ヘ報告アリ（文部省）

震央ハ愛知縣丹羽郡ノ西部（木曾川南岸）ト認メラル最激震部ニテノ地動ノ强サハ明治二十四年大地震ノ節濃州岡崎或ハ遠州濱松邊ニ於ケルヨリハ少シク弱ナルヘク又同時ノ東京近傍ノ地震ヨリハ少シク大ナルヘシ

格別ノ地變ナシ唯幅二三分程ノ地割アリシノミ尤モ噴水ハ處々ニ在リ往家ノ倒レタルハナシ

扨ニ一ノ奇異ナル現象ハ岐阜愛知兩縣下ニ於ケル地震ノ配布ニシテ美濃國可兒郡及尾張國丹羽郡ニテノ地震ノ多キコトハ他ニ比類ナキノ一事ナリ卽チ丹羽郡小折町ニ於テ昨二十六年中ニ記錄セシ地震ノ總數ハ三百五十回ニシテ同年中岐阜測候所ニ於テ觀測セル數（三百）ヨリモ多キコト是ナリ

○產業

○二毛作試驗　富山縣ニ於テハ農事試驗場ヲ各郡ニ設置シ米作上種々ナル試驗ヲ爲シ專ラ其改良ヲ謀リツヽアリシカ昨年射水郡及礪波郡同試驗場ニ於テ筑前國ヨリ實業敎師ヲ聘シ二毛作ノ試驗ヲ施行セシニ頗ル好結果ヲ得タリ依テ其方法ノ普及ヲ謀ランカタメ各町村ヲ奬勵セシニ礪波郡ニ於テハ各高等小學校ニ附屬ノ試作場ヲ設ケ敎師ヲ筑前國ヨリ聘シ實業敎育ノ用ニ充テ傍ラ當業者ノ模範ニ供スルコトヽ爲セリ（富山縣）

○二十六年中度量衡檢定數　島根縣ニ於テハ昨二十六年中常置度量衡檢定所ニ於テ檢定セシモノ製作品量器總數千五百九十九箇此檢定料額三十圓五十二錢、衡器總數六百七十四箇此檢定料額六十五圓六十六錢修覆品量器一箇此檢定料額五錢衡器十七箇此檢定料額三圓六十二錢「メートル」法ニ係ルモノ度器一箇此檢定料額七錢五厘、衡器總數百十一箇七組此檢定料額十圓三十四錢ナリ（島根縣）

○衞生

○傳染病患者　東京、大阪ノ二府及山梨、青森、山形、福岡、佐賀ノ五縣ニ於ケル傳染病患者左ノ如シ

東京府　本月十六日屆出ノ腸窒扶私患者牛込區男一人、京橋區男女各一人、本郷區男一人、南多摩郡女二人、計六人實布的里亞患者下谷區女一人、痘瘡患者本所區男一人、合計八人（警視廳）

大阪府　本月八日ヨリ同十四日ニ至ル一週間ニ屆出ノ腸窒扶私患者二十三人死亡八人」實布的里亞患者六人死亡三人、赤痢患者七人死亡五人、痘瘡患者四十三人死亡二十七人（大阪府）

山梨縣　本月七日ヨリ同十三日ニ至ル一週間ニ屆出ノ腸窒扶私患者二十四人死亡七人」實布的里亞患者四人、痘瘡患者六十九人死亡十八人ナリ（山梨縣）

青森縣　本月八日ヨリ同十四日ニ至ル一週間ニ屆出ノ腸窒扶私患者六人死亡一人」實布的里亞患者五人死亡二人（青森縣）

山形縣　本月八日ヨリ同十四日ニ至ル一週間ニ屆出ノ痘瘡患者三十三人死亡五人」實布的里亞患者三人死亡二人」腸窒扶私患者三十五人死亡十六人（山形縣）

福岡縣　昨年十二月二十四日ヨリ本月六日ニ至ル二週間ニ屆出ノ腸窒扶私患者三十九人死亡十一人」實布的里亞患者十一人死亡七人、赤痢患者二十六人死亡七人」痘瘡患者十人死亡二人（福岡縣）

佐賀縣　本月七日ヨリ同十三日ニ至ル一週間ニ屆出ノ赤痢患者一人」腸窒扶私患者一人死亡一人」痘瘡患者十四人死亡二人（佐賀縣）

○赤痢病況報告　曩ニ赤痢病況視察ノタメ岐阜縣下外數縣ヘ派遣シタル內務屬柳下士與ノ昨二十六年十二月二十日附ニ係ル岐阜縣下同病況報告ハ左ノ如シ（內務省）

十一月三十日岐阜市到著直ニ岐阜縣廳ニ出頭シ書記官鈴木馬左也警部長久保誠之二面會シ先ヅ赤痢流行ノ景況豫防ノ方針等ヲ質問セシニ所轄濃飛兩國ノ中飛騨國ハ未タ流行ニ至ラス專ラ美濃國ヲ侵シ殊ニ武儀大野池田山縣ノ四郡ニ流行シ猖獗ヲ逞クスルトノコト附キ翌十二月一日衞生主任警部津田深藏同伴岐阜出發該四郡中流行ノ最モ熾ナル町村ヲ巡視セリ其流行地ニ入ルヤ或ハ郡長警察署長若クハ主任郡書記及町村長衞生組長等ノ案內ニ依リ流行地及患家ノ形況發生傳播ノ原因、豫防消毒ノ方針同施行方法ノ適否同實地ノ勘檢自治的關係ノ如何等ヲ仔細ニ視察セリ其大略左ノ如シ

岐阜縣ヲ巡視スル際ニ今回ヲ以テ初ト俗ニ先ヅ其潮域及地形ヲ按スルニ東ハ一帶信濃國ニ南ハ三河尾張伊勢ノ三國ニ西ハ近江國ニ北ハ越前、加賀、越中ノ三國ニ連接シ地形ハ恰モ犀牛花葉ノ如クニシテ葉頭ヲ飛騨國ハ本報告ニ關係ヲ有セサルカ故ニ姑ク之ヲ閣キ直ニ美濃國ニ還ラン抑ヽ美濃國ハ東西凡ソ二十七里南北幅ヲ二十里面積大約三百二十餘方里戶數殆ト十六万ニシテ國一市二十二郡ヲ算シ所謂無海國ナリ然レトモ河川縱橫水路蔘差舟揖ノ利ニ乏シカラス灌漑亦便ヲ缺カサルト共ニ大旱洪水ノ災害アルヲ免カレサリキ

次テ其地勢ヲ察スルニ東北ハ山岳綿亘起伏更ニ南ニ延キテ遂ニ三河國ニ入ル西北ハ一山脈越前國ヨリ來リ近江、伊勢兩國ノ疆ヲ域レリ其間旁枝四出各處小山蔟ヲナス者アルヲ見ル中央及西南ハ平原多ク土地膏腴ニシテ五穀皆熟シ桑麻茶棉モ亦能ク殖スト云フ

溫度ハ東海道諸國ニ比スレハ爽氣爾、强シト雖モ西南ノ地ハ尙ホ柑橘ヲ栽培スルニ足ル漸ク東北ニ偏スルニ從ヒ冬季積雪常ニ三四尺ニ及ブ所アリ殊ニ西北ノ地ニ至リテハ尚ホ丈餘ニ至ル地アリト聞ク本年赤痢ノ流行セシ武儀郡ノ溫度ハ最高攝氏二十九度五分最低〇度三分ニシテ大野郡ハ最高三十二度最低氷點以下二度ニ居リ池田郡ハ最高最低共ニ大野郡ニ同ク山縣郡ハ最高三十五度最低〇度一分ヲ三箇年ノ平均トス

之ヲ古老ノ口碑ニ聞ク日ク當國ニ於テハ從來赤痢ノ發生ヲ見サルニアラサルモ其流行ヲ爲スハ蓋シ本年ヲ以テ初ト今當國ニ於ケル既往ノ一般病況ヲ考フルニ明治二十三年以前ハ實ニ點々散發スルノミ一昨明治二十四年ニ至リ加茂郡（有病町村數二）ニ十四人、岐阜市（有病町村數一）ニ十人、本巢、大野、方縣、武儀、山縣ノ五郡（一郡十人以內）ニ十七人、總計四十一人ノ患者ヲ出シ稍ヽ流行ノ萌芽ヲ顯シ次テ昨二十五年ハ大野郡（有病町村數三）ニ四十六人、武儀郡（有病町村數二）ニ二十五人、加茂郡（有病町村數二）ニ二十四人、本巢、安八、山縣、岐阜、池田、多羅、方縣ノ一市六郡（一市郡十人以內）ニ三十五人、總計百三十人ノ患者ヲ出シ前年ヨリ流行ノ步ヲ進メタリト雖モ未タ一市郡ニ百人以上ノ患者ヲ出サス二至ラサリキ

然ルニ本年八月一日武儀郡廣見村ニ一患者ヲ出シタルヲ初メ同月六日同郡乾村ニ發シ爾來續々蔓延シテ殆ト國國ヲ襲シ此武儀郡廣見村ヲ以テ初トス

次テ大野郡ハ九月一日揖斐町ニ池田郡ハ同月三日厩永村ニ山縣郡ハ八月六日神崎圓原兩村ニ發シタルヲ初トシ爾來續々蔓延シテ十一月三十日ノ調査ニ依レハ武儀郡ハ患者千八十七人死亡二百三十一人、大野郡ハ患者七百九十二人死亡百七十二人、池田郡ハ患者七百五十六人ノ多キヲ算スルニ至レリ之ニ次キ加茂郡ハ八月二十三日太田町ニ發シテ患者二百八十三人死亡八十四人ヲ、可兒郡ハ同月二十一日春里村ニ發シテ患者百十四人死亡二十四人ヲ、方縣郡ハ八月三十日綱代村ニ發シテ患者百三人死亡三十人ヲ出セリ

岐阜市ハ八月二日大字今泉ニ發生シタルヲ初トシ患者四十七人死亡十人ニ過キスト雖モ六千三百六十一ノ戶數ト二万二百八十七ノ人口トヲ有シ殊ニ縣廳ノ所在地ナルヲ以テ流行各郡ト同シク視察セリ

倘ホ之ニ次クハ多羅郡患者四十二人死亡十三人、安八郡患者三十五人死亡十五人、不破郡患者二十七人死亡九人、土岐郡患者二十一人死亡二人ニシテ爾餘ノ各郡ハ皆二十人以內トス

土民カ經驗ニ徵スルニ地方ノ西タリ東タルヲ問ハス流行ノ初年ハ病勢緩ニ病症亦輕キヲ通例トス岐阜縣本年ノ病勢病症ヲ目擊スルニ亦同シク然リ是ニ由リテ之ヲ觀レハ古老ノ口碑ニ聞クカ如ク從來赤痢ノ流行セシコトナキハ復タ疑フヘカラサル所ナリ故ニ本年ヲ以テ姑ク本縣赤痢流行ノ初年ト看做スヘシ

今更ニ本年流行ノ旺盛ナリシ四郡ノ地形及生計等ノ概況ヲ述フヘシ

武儀郡ハ四十九町村ヲ以テ成リ地形層折處々山巒多ク東ハ山縣郡ニ北ハ越前ノ境ニ接シ東北ハ連山ヲ以テ郡上郡ニ界シ東南ハ加茂各務兩郡ノ間ニ蟠ル大野郡ハ六十二町村ヲ以テ成リ北部ハ過半山又山ニシテ越前ノ境ニ迄リ西ハ揖斐川ヲ以テ池田郡ニ界シ東ハ根尾川ヲ隔テヽ本巢郡ニ隣レリ池田郡ハ五十三町村ヲ以テ成リ地南北ニ長ク東ハ揖斐川ヲ以テ大野郡ニ隣シ東南安八郡ニ連ナル處僅ニ平夷ナルノミ漸ク西北ニ趨クニ從ヒ到ル處皆山ナラサルハナシ殊ニ土地磽确ニシテ米麥ニ乏シク問ヽ木實蕃殖ヲ以テ常食ニ充テ辛ク一縷ノ生命ヲ危殆中ニ保チ人民ハ一ニ活計ヲ段木ノ產出ニ賴ムノミ以上三郡ノ山岳多ク土地脊脉ナラサルハ其石炭、瀝及炭等ヲ主ナル物產トスルヲ以テ證スルニ足ル山縣郡ハ三十二町村ヲ以テ成リ山多クシテ木巢郡ノ東ニ並ヒ東、武儀郡ニ界シ地形細長中央ヨリ方縣郡ノ界ヲ過キ郡上川ハ郡上郡ヨリ出テ武儀郡中ヲ南流シテ山縣郡ニ入リ揖斐川ハ大野郡ニ在テ水源ヲ同郡ノ山溪ニ取リ神崎川ハ山縣郡神崎村ノ山中ヨリ出テヽ武儀郡ニ入リ武儀川ト爲リ再ヒ山縣郡ニ回流シテ郡上川ニ注ク其他小河細流ハ殆ト枚擧ニ遑アラス

圖國一市二十二郡中本年赤痢ノ侵襲ヲ被リシハ實ニ一市十九郡ニシテ之ヲ免レタルハ唯僅ニ下石津郡ト古尾張國ニ屬セシ木曾川流域變更ノタメ此國ニ移シタル中島、海西兩郡トノミ故ニ此中島、海西兩郡ハ木曾川ニ瀕シ地勢平衍尾張國ノ諸郡ト相望ミ名稱亦相同シキナリ而シテ本年病災ヲ免レタル以上ノ三郡ハ曾國ノ西南隅ニ偏シ夫ノ尾張國ヲ受ケタル寧牛花葉柄ニ接スル缺裂ノ左尖端ヲ占ムル所トス

十一月三十日ノ調査ニ依ルニ患者總計四千百四十六人死亡九百二十四人ノ多キニ達シタリ而シテ現在患者尙ホ二百六十八人ヲ算フ今其流行及流行セントセシ郡市ニ就キ三年間比較シタル患者表ヲ揭クルコト左ノ如シ

郡市名	戶數	人口	醫師	二十四年 有病町村數	二十四年 患者	二十四年 死亡	二十五年 有病町村數	二十五年 患者	二十五年 死亡	二十六年 有病町村數	二十六年 患者	二十六年 死亡	合計 患者	合計 死亡	最高溫度	最低溫度
岐阜市	七	大三六一 三六 二〇、二八七	一	一	一	一	一	一	一	五	四七 一〇	六	四七 一〇	六 一	水點下七三、〇	三六、〇 水點下七三、〇
方縣郡	四一	五八、五八五 二五	二	二	二	二	一	一	一	一六	一〇七 二三	一	一〇七 二三	一	水點下七三、〇	三六、〇 水點下七三、〇
多羅郡	三五	五、五四一 一八	一	一	一	一	二	二	二	四一	二三 一四	二	二三 一四	二	三三、〇 水點下一五	三三、〇 水點下一五
安八郡	一〇九	七、六、二一 一六	一	一	一	一	二	二	二	一七	二一 一三	一	二一 一三	一	三三、〇 水點下一五	三三、〇 水點下一五
大野郡	六一	三三、六三一 二三	二	二	二	二	一	一	一	四六	四四 一六	一	四四 一六	一	三三、〇 水點下一五	三三、〇 水點下一五
池田郡	五三	大、〇二〇 一八	一	一	一	一	二	二	二	四一	二三 一四	二	二三 一四	二	三三、〇 水點下一五	三三、〇 水點下一五
本巢郡	六一	二九、六八八 二三	二	二	二	二	一	一	一	七	二一 一三	一	二一 一三	一	三三、〇 水點下一五	三三、〇 水點下一五
山縣郡	三三	三三、四三七 一八	一	一	一	一	二	二	二	四	二四 一七	二	二四 一七	二	三三、〇 水點下一五	三三、〇 水點下一五
武儀郡	四九	二七、六八一 五四	二	二	二	二	一	一	一	二五	一五六 三	一	一五六 三	一	三三、〇 水點下一五	三三、〇 水點下一五
加茂郡	五五	八六、一二四九 五〇	二	二	二	二	一四	一四	一四	二九	二四 一六	二	二四 一六	二	三三、〇 水點下一五	三三、〇 水點下一五
可兒郡	一七	大四、九九五 一五	一	一	一	一	一	一	一	一	二一 一三	一	二一 一三	一	三三、〇 水點下一五	三三、〇 水點下一五
合計	五一五	三五、四五五 三三九	二二	二二	二二	二二	四一	四一	四一	二三	二三〇 二九九	四、〇二二 二九九	四、九二二 二九九	四、九二二 二九九	水點下三五、〇	三六、〇 水點下七三、〇

（備考）溫度ハ三箇年ノ平均ヲ揭ク而シテ岐阜市方縣郡ノ他ハ皆午前十時ノ觀測ニ係ル

官報 第三一六五號 明治二十七年一月十九日
本文 316 5 1 5 6

武儀郡ニ於テ流行ノ盛ナリシ町村ハ乾、西武藝ノ二村ニシテ甲ハ患者二百人以上ヲ乙ハ百人以上ヲ出シ次テ東武藝村ハ殆ト百人ヲ奥洞戸、飛瀬ノ二村ハ五十人以上ヲ出ス其他十人以上二十一村十八以下十六村アリ大野郡ニ於テハ百人以上ノ患者ヲ出セシヲ揖斐町トス深坂村之ニ次キ殆ト百人ヲ稜藏北方、清水ノ三村ハ五十人以上ヲ出セリ其他十人以上十村トシ十人以下二十九村ト池田郡十八村ハ十人以下ヲ出セリ山縣郡ハ谷合村ニ於テ殆ト二百人ヲ富波圓原兩村ハ各〻八十人以上殆ト百人ヲ出シ山縣、神崎ノ兩村ハ各〻五十人以上ヲ出ス其他十人以上三村十人以下十六村アリ

前既ニ述フル如ク當國ニ於テハ從來流行性赤痢ナカリシニ本年初メヲ之ヲ發生セリ而シテ發生ノ原因ハ從來各郡ニ散在セル特發性病毒ノ或ハ關係ニ依リ變シテ流行性トナリシ將タ四國九州及關西地方ニ流行スル惡性病毒ノ新ニ侵入來リシカ未タ明ニ判斷ヲ下スヘカラスト雖モ當國ノ山地ハ各處(然ニ武儀郡ニ最モ多シ)製紙(鈔一種アリ)就中直紙所謂奚濱紙ヲ産出スヲ業トスルタメ及厚見郡ニ岐阜提燈ヲ産スルタメ主トシテ其販路ヲ取ルニヨリ自然大阪ト密接ナルカ故ニ或ハ父兄大阪在留中本病ニ罹リテ歸國シ或ハ兄女大阪ニ於テ罹病セシ報ニ接シ母姉ノ消息ヲ聞ク毎ニ憂ヒ更ニ歸來リタル等ニ疑ナキニアラサルヨリ之ヲ考フレハ其原因ヲ大阪ニ取リシコト敢テ疑ヲ容ルヘカラサルニアラス盡シ大阪ハ二三年以來既ニ四國九州等ニ流行セル惡性病毒ノ侵襲ヲ被リシ土地ナレハナリ

要スルニ當國ハ前年非常ノ震災ヲ受ケ且ツ水損旱魃交〻到ルト共ニ流行四郡民カ殆ト常食トスルノ大部分タル蕎麥ヲ腐朽セシメ終ニ一部落ノ飢饉ヲ生シ唯僅ニ患者ノ滋蔓ニ緋ヲ野ニ餓莩アルノ甚シキヲ見サルノミ

其他傳播ヲ制助シタルハ飲食物殊ニ用水ヲ主トス是レ本路ニ沿フテ患者ノ多キト水源地方一度患者ヲ生スレハ下流地方漸次發生ヲ増加スルトヲ以テ證スルニ足ル次ハテ隠蔽ト賣藥ト醫師ノ診斷疎漏トヲ挙ケ得ヘシ隠ヲサルヘカラサルノ要ノモノ拘ラス及フヘキ丈豫防消毒ヲ嚴重ニシテ病毒ノ絶滅ヲ謀ラサルヘカラサルニ今回發生ノ中心ト爲リシ地方ヲ望察スルニ歴々其跡ヲ證スヘシ而シテ既ニ流フル如ク本年ノ赤痢ハ多クハ輕症ナルカ故ニ患者深ク意ニ介セシテ診ヲ醫師ニ請ハス專ラ治ヲ賣藥ニ託シ薬ヲ醫師ニ請フコトアルニモヨリ醫師亦多クハ重症ノミヲ屈出シテ輕症ハ慢性腸加答兒或ハ流行性下痢等ノ診斷ヲ下タシテ輕卒ニ看過シ去リ血便ヲ見ルヲ屈出ノ期トスルカ如キ傾向アルニ由リ其間巨多ノ時日ヲ費シ知ラス識ラス豫防消毒ノ注意ヲ缺キ終ニ病毒ヲ散シテ蔓延ヲ恐ニセシムルニ至ル假令然ラサルニモセヨ表中ニ掲クル如ク多クハ醫師ニ請フテ診ヲ醫師ニ請フ流行町村ヨリ醫師ヲ縣廳ニ請求スルモ之ニ應スヘキ醫師ナキノ景況ナルカ故ニ一ニ患者ノ請ニ應シテ之ヲ滿足セシムル能ハサルハ甚タ遺恨ノ事ナリトス

人事ノ交通モ亦大ニ病毒ノ蔓延ヲ制助ス殊ニ旅客ノ往來ニ於テ然リトス就中隠蔽ノ如キ下等旅客最モ太甚シ大野郡德山村ナル谷汲山華嚴寺ハ俗間美濃ノ谷汲ト稱シ佛徒結願ノ霊場ニシテ西國三十三所ノ終尾ニ當リ香烟ノ絶エサルト共ニ所謂順禮ノ絶ユル時ナシトス

霊シ本年ノ病毒タルヤ從來ノ如キ緩和ナル病毒ニアラス原ヲ四國九州等ニ取リタル惡性ノ病毒ナル結果ニ相違之ナキハ勿論ナレトモ亦季候變遷ノ關係モ之アルヘク必竟豫防消毒施行ノ順序宜シキヲ得タル認ム深ク其警戒ヲ厳ニセス加フルニ隠蔽或ハ醫師ノ之ヲ等閑ニ付スル等ノ虚ニ乘シ忽チ傳播ヲ恣マニシテ一家數人或ハ一村數戸ノ患者アルニ至リ始メテ其惡性赤痢ナルヲ悟リタル等ノ事モ亦與リテ力アラン

本縣ニ於テ施行シタル豫防法ノ概況ヲ記サンニ其流行ノ景況ヲ顧スヤ縣知事ハ八月十四日ヲ以テ「本縣下ニ於テ赤痢病ニ罹ルモノ遂年増加シ現ニ昨二十五年ノ如キハ殆ト四百餘名ニ及ヘリ然ルニ近來漸ク九州諸縣及其他ノ地方ニ於テ該病蔓延ノ兆ヲ顧シ候ニ附キ此際周ク豫防法ヲ施行シ若シ該患者ヲ生シタルトキハ之ヲ初發ニ撲滅スル樣深ク注意シ且ツ又之ヲ施行スルモ今シ同月二十七日縣立病院長ヲ加茂郡太田町等ニ赤痢ヲ發生シ爾來下流諸村ニ蔓延スルニ附キ當分該兩川ノ水原村並ニ木曾川沿岸加茂郡太田町等ニ赤痢ヲ發生シ爾來下流諸村ニ蔓延スルニ附キ當分該兩川ノ水ヲ飲ミ又ハ食物食器及衣類等ヲ洗滌スヘカラス且ツ此際飲食物ハ可成的煮沸シテ用ヒ若シ下痢症ニ罹ラハ速ニ醫師ノ診ヲ請ケ專ラ豫防攝生ニ注意スヘキ旨ノ告諭ヲ發シ同月二十二日「醫師ニ於テ赤痢病類似ノ症ヲ診斷シタルトキハ速ニ其地ノ市町村長又ハ醫務官署ニ通知シ且ツ赤痢病ニ準シ豫防消毒法ヲ設ケスヘシ」ト縣令ヲ發シ同日尚ホ郡市役所町村役場ニ「初メテ赤痢病發生ノ市町村ニ於テ消毒藥及消毒施行ニ要スル器具ノ準備ナキニ依リ消毒施行シテ散逸セシメタルノ實例往々之アルニ附キテハ各市町村役場ニ於テ此際相當ノ消毒藥及必要ノ器具等準備致置キ臨時事ニ差支ヘサル樣取計フヘシ」ト訓令シ同月二十七日ニ至リ豫防本部ヲ縣廳内ニ支部ヲ大野池田郡役所内ニ山縣郡役所内ニ武儀郡役所内ニ加茂郡役所内ニ可兒郡役所内ニ置キ組織及處務規定ヲ制シテ内務部ニ警察部ニ郡市役所ニ警察署分署ニ訓令シ同月三十日地方開業醫ニ名ヲ本部ニ委員ヲ爲シ一名ヘ大野池田兩郡ニ一名ハ山縣武儀兩郡ヘ派遣セシム此延日數六十日其他時々流行地方ヘ縣立病院醫員等ヲ派遣シ十月三日豫防支部出張所ヲ大野郡揖斐町ニ深坂村池田郡市場村ニ東津汲村ノ四箇所ニ設ケ以テ豫防法ノ周到ヲ期セリ

豫防消毒法ノ施行ハ既ニ市郡町村制ニ布カレタルカ故ニ專ラ市町村ノ自治ニ任セリ然レトモ自治制實施並ニ衛生組合設置日尚ホ浅ク且ツ本年初メテ本病ノ流行ニ遭遇シタル等ノ故ニ依リ從來非ニ慣レタル縣廳病院醫員郡吏等ヲ有病地ニ派遣シ豫防消毒ノ施行ニ監督セシムルニ拘ラス當時發生傳播ノ迅速ナル流行區域ノ廣大ナル或ハ意ノ如クナラサルノ感ナキニアラス其施行ノ意ノ如クナラサリシハ蓋シ此點ニモ亦幾分カ關セシナラン町村役ヲ以テ醫師ヲ雇入レタルハ池田郡ニ一箇所ト武儀郡ニ二箇所トノミ

近來漸次新患者ノ發生ヲ減シタル町村吏員等ノ稱豫防消毒實施ニ慣レタルト氣候ノ寒冷ニ趨キタル等種々原因ノ輻輳セルニ在ルヘシト雖モ當初監督官廳カ郡市役所町村役場警察署分署ニ向ヒテ注意ヲ促シタルノ效亦其一ニ居ル爲ルヘシ

此ニ町村自治ノ豫防事業トシテ大ニ之ヲ嘉賞シ且ツ將來他ノ模範トスルニ足ルノ二件アリ即チ左ニ之ヲ記ス

(甲)武儀郡上有知町ハ戸數殆ト一千商業繁盛街路四達シ且ツ郡役所アリ豫防ヲ緊要トスルノ地方ナリシカ町民ノ豫防ニ熱心ナル町内到處ノ塵頭ニ陳列セル莫物ヲ盡ク町費ヲ以テ買收シ之ヲ埋沒シタノ患者ヲ出スニ過キサリキ

豫防消毒上或ハ緩心スヘキコトアリ或ハ感賞スヘキコトアルハ以上既ニ縷々陳述シタルカ如シ若シ豫防消毒上或ハ意ノ如クナラサルノ感ナキニアラス之ヲ未タ斯ク熾盛ナラサルニ壓止スルヲ得タルコト蓋シ難キニアラサリシナラン然レトモ既往ハ追フヘカラス唯將來即チ明年ヲ憂慮スルノミ翌ク八月今日ノ氣勢ヲ以テ當初ヨリ豫防消毒ニ從事セシナラハ之ヲ未タ斯ク熾盛ナラサルニ壓止スル程ノ効ナキニアラス

麻布	一、九八〇段	一、〇六五	五、〇六五（減）	四、〇〇〇
金地	一三、六七四	五七、〇五二	六、〇七九〇（同）	三、七三八

輸入ノ部

生金巾　上旬ヨリ下旬ニ掛ケ兎角引立テ兼ネタル姿ナリシカ下旬ニ至リ新大豆ノ弗々入荷アリ爲ニ卒ニ好景氣ヲ現シ一義印四圓十九錢卽チ十六七錢方ノ上向ナリ

紋金巾　是レ亦前月ニ比シ幾分カ好景氣ナリ

色木綿　紺木綿雙子織共先ヅ可ナリノ景氣ニシテ月末韓客入館多キ時ノ如ハ殆ト品切ノ有樣ナリシ

白木綿　本品ハ元來金巾ニ比シ其質堅牢ニシテ久シキニ耐ヘ冬期抓ハ金巾ノ如ク冷ナラサレハ其需要ハ追年增加シ殊ニ當咸鏡道北關地方ハ最タル得意場ニシテ元山津開市日陳列品ノ過半ハ木綿ナリ相場ハ釜山十錢ヨリ一圓二十錢内外ナリ

總絲　季節品トテ賣行宜シク且ツ近來機絲トシテ用フル者アルヨリシテ一層好景氣ナリ

荒絹　例年此頃ハ平安道地方ヘ向ケ賣行ク時期ナルモ何分本年ハ顧客現レス唯小口ニシテ弗々捌ケルノミ相場ハ百斤二十圓九十錢内外ナリ

衣類　冬期居留本市民ノ需要ニ供センカタメ輸入セルニ過キス

打綿　前月來品拂底ノタメ多少價直高キニモ係ラス續々賣行ク有樣ニシテ毎航幾分ノ輸入アルモ尙ホ相場ハ追ヒ引締リ持主ハ皆ナ賣惜ノ姿ナリシ相場ハ百封ニ附キ二十圓内外ナリ元來輸入打綿一箇ハ百枚入（一枚六十目内外）ナリシカ近來ハ一箇百五十枚（一枚四十目内外）若クハ二百枚（一枚二十七八匁）ノモノ多ク今日最モ多ク輸入スルハ二百枚入ト爲レリ是レ韓人（小賣ニスルニハ一枚ノ目方ヲ減シテモ枚數ヲ多クシ以テ厭價ニ賣ラントスルモノニシテ畢竟ハ競爭ノ弊ナリ

白米　當道地方ハ一商人ノ本邦ニ於テハ當時釜山米ノ相場引合ハサリシヨリ當地ヘ廻送シテ賣逃ケントセシニ因ル相場ハ釜山上一石九圓三十五六錢ナリ

摺附木　韓人ノ買去ルモノハ多ク危險燐寸ニシテ爲ニ安全燐寸ノ販路ハ壓倒セラルヽ如キ觀アルモ尙ホ危險燐寸ニ比シ價格幾分カ廉ナルカタメ全然ナキニアラス相場ハ一打二錢一匹ナリ

石油　内地相場日々上向ナルニ連レ當港持主モ各價格ヲ引上ケシモ尙ホ賣行ハ惡カラサル有樣ニテ日々相應ハ取引アリ相場ハ一函二圓六七錢ナリ

酒類　多クハ日本酒ニシテ釜山釀造品モ亦評カラス釜山酒ノ如キハ多少韓人ノ飲用ニ供スルモ日本製ハ寒ヲ居留人民ノ飲料ナリ

食鹽　賣行最モ宜シキモ前々來過多ノ輸入アリ何モ荷崩ミノ有樣ニテ各々賣逃ケントテ競テ賣出セシカハ割合ニ利益ナカリシカ如シ相場ハ四斗八升入一俵四十五錢ナリ

絹段物　本邦商人ノ輸入セシ百五十六段ノ内共多クハ日本人向ニシテ韓人向ハ甲斐絹七十段ノミ此相場ハ四圓五十二三錢ニシテ弗々取引アリ

綾本綿　清商ノ輸入ニ係リ重ニ北關地方ニ賣行キ又當地方ニテ足袋用ニ供セリ

更紗　全ク韓人ノ浦潮港ヨリ持歸リシモノニシテ當道北方西伯利ノ地方ニ於テ多ク蒲團及風呂敷ニ用フルモノナリト云フ

折錫　格別厭立チタル取引ナキモ小口ニテ絕エス賣行ケリ

眞鍮器　多クハ釜山製韓人向キ烟管ニシテ近來日々輸入ノ增進セルヲ見ル

紙類　殆ト皆ナ韓商ノ取扱ニ係リ其品種ハ雨具用油紙ナリ

輸出ノ部

大豆　前月初ノ水害ニ逢ヒ又本月初旬ノ暴風ニ遭ヒシカハ彼此不出來ヲ唱エ居リシモ實際ハ此三年中ヨリ上出來ノ方ナレハ下旬ニ至リ非々出廻アリ初荷トテ各商競テ買入ル丶姿ニシテ格外ノ手合セアリ出盛ハ來月頃ナルヘシ相場一石四圓十五六錢ナリ

牛皮　孟圓益會後トテ續々出荷アリ相場百斤十五圓八九十錢先ヅ居据リノ姿ナリ

干鰈　江原道沿海ハ凶外ノ漁獲アリテ該地方ヘ出買スル者少カラス唯々交通不便運漕甚タ難キヲ以テ前月ニ比シ千六百餘圓ノ減額ヲ示セリ相場ハ百斤一圓三十一二錢ナリ

煎海鼠	一、〇六〇段	一、〇六五	五、〇六五（減）	四、〇〇〇
生牛	一六〇	五二〇	六、〇七九〇（同）	三、七三八

多クハ韓人ノ浦潮港ヘ向ケ積出シタルモノニシテ日本人ノ本邦ヘ向ケ輸出セシモノハ十三頭ニ過キス之トテモ帆船ノ歸途積荷少キカタメニシテ馬關ヘ向ケ輸出セリ

明太魚　前月ト大差ナシ

白米　當地方ノ米作上出來ナルヲ以テ本邦民ノ欲テ持圖ヒ居タル釜山米ヲ本月下旬ニ同地ヘ積展セリ

麻布　四千圓ノ輸出減額ヲ示セシハ季節ノ然ラシムル所ナリト雖況ハ前月ト大差ナシ

金地　本邦相場ノ騰貴ニ連レ各々買進ミノ模樣ナルモ何分出廻リ尠ク遠ク前月ニ比シ三千餘圓ノ輸出減額ヲ示セリ且ツ時下殿寒ニ向ヒタレハ採掘ニ從事スル日モ亦多カラサルヘシ相場ハ十匁四十

右輸出入重要品ヲ各國商ニ區分スレハ左ノ如シ

輸入ノ部

品名	數量	價格	前月價格	增減
日本商 生金巾	六〇〇段	一、八六〇円	八九二円	九六八円（增）
紋巾	一六〇	五二〇	五二〇（同）	五二〇
色木綿	一、二七七	八四七	五四一（同）	三〇六
總絲	六、一五〇斤	一、九〇五	一、一〇〇（同）	八〇五
荒絹	五、二四〇	八六八	六一一（同）	二五七
打綿	五二、一七八石	九、九一四	七、八七五（同）	二、〇三九
白米	二三一	二、〇四四	一（同）	二、〇四四
摺附木	一、八一七	五四五	一（同）	五四五
石油	二、八〇一箇	五〇四二	五、〇四二（減）	九〇
酒類	一	五〇二	七七〇（同）	二六八
鹽	五、四一六石	四、八七五	三、七三一（增）	一、一四四
絹段物	一五六段	八六一	五六五（同）	二九六
錫	六、七五〇斤	二、六〇四	一、四六九（同）	一、一三五
支那商 金巾	一〇、三五〇段	三一、九五〇	五四、三八八（減）	二二、四三八
綾本綿	一、一三五	五二八	六二三	九五
白木綿	一、五〇〇	六〇〇	八〇〇（同）	二〇〇
絹段物	三、三〇〇	一、一〇〇	一、二〇〇（同）	一〇〇
絹絲	一	二、二七三	二、九三八（同）	六六三
眞鍮器	四、二九〇	五一一	五一一（增）	五一一
紙類	一	一、一〇七	五〇七（同）	六〇〇
朝鮮商 白木綿	一四、六〇六段	一四、六〇六	一、六三〇三（減）	一、六九七
更紗	二三七	七四三	七四三（增）	七四三
生金巾	一一六	六八六	六八六（同）	六八六
輸出ノ部 大豆	一八〇石	一、四〇一円	二、四九三円（減）	三、二一一円
日本商 干牛皮	二五、一三九斤	三、六七五	二、八五二（增）	八二三
煎海鼠	六七、〇六五	七五一	二、三八七（減）	一、六三六
生牛	七五、六五	二、〇五六	一、六五七（增）	三九九
白米	三五石	五二九	（同）	五二九
金地	六三	五五〇	（同）	五五〇
	四五〇匁	一八七五二	一五、六四〇（同）	三、一一二

支那商 金地	九、一七四	三八、三〇〇	四五、一五〇（減）	六八五
朝鮮商 麻布	二、一二二〇〇円	一〇、五六〇	一八、六九八（同）	八、一三八
魚	一、九八〇段	一、〇六五	五、〇六五（同）	四、〇〇〇

又本月中當港輸出入貨物ヲ搭載シタル船舶國籍左ノ如シ

輸入

	日本	外國	計
日本	七一、一〇二円	三、三六三円	小計
露國	三、二一二	一	三、三六三
計	七四、二一四	内港ヨリ外國ヘ	一九、〇三四

輸出

	日本	外國	計
日本	六四、三九〇円	一、二二五六円	七五、六四六円
露國	九八三	一、五〇三	二、四八六
合計	六五、三七三	一二、七五九	七八、一三二

表中露船ハ同國「シベリヨフ」會社船ナリ

又本月中當港ヘ出入セシ船舶ハ左ノ如シ

		日本船	外國船	合計
汽船	船數	四	一	五
	噸數	四、〇三六・二二	一、四三〇・〇〇	五、四六六・二二
帆船	船數	四	一	五
	噸數	五九八・七二	一、四三〇・〇〇	五〇七・三二
西洋形帆船	船數	一	一	二
	噸數	一	一	二
日本形帆船	船數	一	一	二
	石數	一	一	二
合計	船數	一一	一	一二
	噸數	五、六三四・八四	一、四三〇・〇〇	七、一〇六・〇三
	石數	五、五四三・四三	一、四三〇・〇〇	七、九三三・〇三
	人數	七	一	八
	石數	一五	一	一六

○外報

露西亞

○波斯トノ領地交換規約　本年昨年十一月十七日司法大臣ハ外務大臣ヨリ領受セシ波斯トノ領地交換ニ附キ該規約ニ關スル公布文ヲ元老院ニ回付セリ右規約ハ千八百九十三年六月八日テヘラン府ニ於テ露波兩國ノ委員記名調印シ同年七月三十日ヲ以テ露帝ノ批准ヲ經タルモノナリ卽チ該公布文ハ左ノ如シ（昨年十月二十日露國官報）

天佑ヲ保有スル全露西亞國皇帝波國國王芬國大公其他ニ君タル朕アレキサンドル第三世茲ニ汝有衆ニ宣言ス朕及波斯國王ノ承諾ニ由リ兩國ノ委員ハ千八百九十三年六月八日テヘラン府ニ於テ左ノ領地交換規約ヲ締結シ璽方之ニ記名調印セリ

全露西亞國皇帝及波斯國王ハ兩國ノ和好ヲ固クスルタメ國境ノ問題ヲ確定センコトヲ欲シ朕ハテヘラン府駐劄ノ露國特命全權公使ビューツオフヲ波斯國王ハ其總理大臣アミーンウス、スルタンヲ全權委員ニ任シ璽方ノ委員ニ於テ締結セシ規約左ノ如シ

第一條　波斯國王ハセルーゼ村及千八百八十一年割定ノ界線トケナーレ山ヨリビル河ノ渡船場ニ達スル一帶ノ地方ト間ニ於ケル領地ヲ露國皇帝ニ讓與スヘシ但シ右ノ領地ニ關シ千八百八十一年締結ノ規約ニ揭クル文面ハ之ヲ刪除シ爾他ノ條文ハ將來尙ホ效力ヲ有スルモノトス

第二條　露國皇帝ヨリ波斯國王ニ讓與スヘキ領地ハ左ノ如シ

第一　千八百二十八年締結ノツルクメンチアイ條約第四條ニ基キ露領ニ併入シタルアブバス、アバッド要塞ノ故址ニ對スルプラクス河右岸ノ地區

第二　ヒサル村及從來ノ界線ト同界線ヲ横斷スルヒサロ、シルガン運河ノ右岸ニ沿ヒ東方ヒサル村ヲ紆回シ更ニ同運河ヲ横キリヒサロ製粉所ヨリ西東二ウェルスト（一ウェルストハ九町四十間餘）ヲ距ル處ノ谷地ニ達スル一帶ノ地方トノ間ニ於ケル地區但シ右ノ谷地ヨリ界線ハ南方ニ向ヒルードバル河流カ從來ノ界線ヲ横斷スル處ニ達スルモノトス

第三條　アブバス、アバッドヲ波斯ニ讓與シタル由リツルクメンチアイ條約ノ第四條ニ揭クル文面ハ之ヲ刪除シ兩國ノ界線ハアラクス河ノ中流ニ沿ヒセルヲリエヂンブルカマテト定メ夫ヨリ以外ノ界線ハ從前ト變更ナキモノトス

第四條　ヒルーゼ及ヒサルノ現場ニ於ケル界線ノ劃定及界標ノ建設其他兩地區授受ノタメ兩國政府ハ各々委員ヲ任定スヘク且ツアブバス、アバッドノ授受ニ關シ均シク兩國ヨリ委員ヲ派遣スヘシ但シ右ノ授受ヲ遂了セサルモ本規約ノ批准交換後ハ雙方均シク領有權ヲ得タルモノト見做スヘシ

第五條　千八百八十一年締結ノ規約第一條ニ示ス界線ノ起點ヨリ以東ニ關スル界線ノ方位ハ左ノ如ク定ム但シ兩國政府各々委員ヲ派遣シ現場ニ於テ劃定セシム

ベッ、ドウマヂヨリジルカ山ノ峯嶺ニ傍ヒ南東ヘイラバッド村ニ向ヒ同村ニ達セシテドウルシギヤラ平野ノ左隅ニ出テドウルシギヤラ河ノ右岸ニ移リカレイ、ミル村ヨリ北方コクラン及シオル、カレノ兩村間ヲ過キ西北リュトフアバッドノ及南方クラン村ヲ紆回シテ北方ニ進ミ更ニ南東シルガン村ニ反轉シ東方チュクル、アギルヲ繞リ北東シルガン村ヲ紆回シヒサロ、シルガン運河ノ右岸ニ達シ更ニ左岸ニ移リ南西大谷地ニ抵リ同所ヨリ南方ルードバル河マテ進ミコズガン河ノ上流地方ボルフアルサフニ於テ同河ヲ渡リ南東ニ向ヒアテカ村ノ南部ヲ過キテゼナ平野ニ於ケル山脈ノ嶺起點ニ達シ更ニテゼナ河ノ中流ニ向ヒコウシウト、カテ要塞ノ故址ヨリ南方ニ當ル處ノ中流ニ沿ヒ阿富汗境ズルフアガラニ達スルマテトス

第六條　兩國政府ハ本規約ノ批准交換後一箇年間各々其讓與シタル地區内ニ於ケル住民ヲ自國ノ領内ニ轉住セシムルノ權利アルヘシ但シ兩國政府ハ本規約上各々讓受タタル地區内ニ於テ要塞ヲ築クコトヲ得ス且ツヒルーゼ及ヒサルニ於ケル「ツルクメン」人ヲ轉住セシムルコトヲ得サルモノトス

第七條　千八百八十四年ヲ以テ兩國委員ノ間ニ取極メタル雙方ノ國境ニ於ケル住民ニ對スル土地及用水ノ分配ニ關スル件ハ本規約ヲ以テ互ニ一方ニ讓與シタル地區ニ關スル場合ヲ除クノ外變更セサルモノトス

第八條　本規約ハ露國皇帝及波斯國王ノ批准ヲ經、調印ノ日ヨリ起算シテ四箇月内若クハ尙ホ早クテヘラン府ニ於テ批准ヲ交換スヘシ

右確定ノタメ兩國ノ委員茲ニ記名調印ス

千八百九十三年六月八日テヘランニ於テ二通ヲ作ル

ビューツオフ

アミーンウス、スルタン

朕本規約ヲ熟閲シ悉ク其適長ナルヲ認メヲ批准スル仍テ朕ノ後嗣者ヲシテ永ク之ヲ遵守セシムルコトヲ茲ニ宣約ス右確定ノタメ朕親ラ名ヲ署シ命シテ國璽ヲ鈐セシム

千八百九十三年七月三十日朕卽位ノ第十三年ペテルゴーフニ於テ

アレキサンドル

奉勅　外務大臣ギールス

北米合衆國

シカゴ世界博覽會ノ成蹟　シカゴ世界博覽會縱覽人ノ數ハ殆ト二千二百万人ニシテ此外自由縱覽券所有人ノ入場シタル者五百万餘ニ達セリ會計上ノ結果ニ就キテハ未タ精確ナル報告ヲ得ルニ至ラス之ニ關スル計算ハ尙ホ見積ニ止ルモノナルカ此見積計算ニ據レハ今回博覽會ノ收入總額ハ大約二千八百五十万弗ニシテ内千万弗餘ハ出品場貸附料、四百万弗ハ出品允許料、二百五十万

官報 3165 号

弗許ハ博覽會紀念貨幣賣却代價、八十万弗ハ雜收入其他千六十万弗ハ株券ヨリ生シタル收入ニ屬ス而シテ家屋建築費、會場經營費及一切ノ事務費等ノ支出額ハ凡ソ二千五百万弗ナリト故ニ建築物ノ取拂費、公園地ノ修覆費及閉會後數月間ノ事務費等ヲ三百万弗以内ノ金額ヲ以テ支辨シ得ルニ於テハ株主等ハ其拂込金ニ對シ若干ノ拂戻金ヲ得ルノ見込アナキニアラス

入場料ヲ拂ヒタル縱覽人ノ總數ハ一千百四十五万九千九百十八ニシテ五月ハ百五万三十七人、六月ハ二百八十七万五千百十三人、七月ハ二百七十六万二百六十三人、八月ハ二百五十一万五千四百九十三人、九月ハ四百六十五万八千九百二人、十月ハ六百七十九万九千百二人此外自由縱覽券ヲ以テ入場シタル者五百九十五万三千八百十八人ナリキ

目下シカゴニ於テハ大寄付ヲ仰キテ今回博覽會出品中ノ珍重ナル諸品ヲ蒐集シ永久之ヲ將來ニ保存スルノ目的ヲ以テ一ノ博物館ヲ設置セントスルノ計畫中ナリシカゴニ於テ最モ盛大ナル小賣商業ヲ營ム マールシヤル、フヰールドノ如キハ若シ博覽會株主ニ於テ二百万弗ノ株券其外他ノ有志者ニ於テ尙ホ五十万弗ヲ右ノ目的ノタメニ寄付スルニ於テハ自ラ百万弗ヲ寄贈スヘキ旨ヲ申込ミタルカジオールジ、パルマント云フ者既ニ十万弗ノ出金ヲ申出タルヲ以テ殘餘ノ四十万弗ヲ徵收スルハ容易ノ事ナルヘク而シテ博覽會株券ニ至リテハ殆ト價値ナキモノナルヲ以テ其所有主等ノ多數ハ之ヲ寄付スルニ吝ナラサルヘシジャクソン公園ノ美術館ハ博物館ニ供用セラル、由ナルカ是レ惡ラクハ世界最大ノ博物館タルヘク而シテ其貯藏品ハ購買或ハ寄付ニ依リ今回博覽會陳列品中最モ貴重ナル物品ヲ網羅シ殊ニ美術館ニ陳列セル美術品ノ多數ハ此博物館ノ備附品ト爲ルヘシト云フ（昨年十一月二十三日澳國商業博物館週報）

○觀象

○全國氣象　一月十八日

氣壓（粍ヲ以テ示ス）

區域	前後	最高	最低
函館	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
室蘭	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
宮城	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
高崎	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
東京	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
横浜	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
新潟	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
名古屋	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
大阪	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
岡山	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
山口	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
高知	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
福岡	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
佐賀	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
長崎	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
熊本	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
鹿兒島	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5
那覇	前日十時	763.5	759.5
	前日六時	763.5	759.5
	前日二時	763.5	759.5

氣溫（攝氏ヲ以テ示シ零下ハ百ヲ加フ）

區域	前後	最高	最低
函館	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
室蘭	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
宮城	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
高崎	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
東京	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
横浜	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
新潟	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
名古屋	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
大阪	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
岡山	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
山口	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
高知	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
福岡	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
佐賀	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
長崎	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
熊本	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
鹿兒島	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5
那覇	前日十時	7.5	3.5
	前日六時	7.5	3.5
	前日二時	7.5	3.5

風

區域	前後	方向	速度
函館	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
室蘭	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
宮城	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
高崎	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
東京	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
横浜	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
新潟	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
名古屋	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
大阪	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
岡山	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
山口	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
高知	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
福岡	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
佐賀	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
長崎	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
熊本	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
鹿兒島	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1
那覇	前日十時	北	1
	前日六時	北	1
	前日二時	北	1

雨量（粍ヲ以テ示ス）雪量（糎ヲ以テ示ス）

區域	前後	雨量	雪量
函館	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
室蘭	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
宮城	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
高崎	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
東京	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
横浜	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
新潟	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
名古屋	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
大阪	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
岡山	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
山口	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
高知	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
福岡	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
佐賀	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
長崎	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
熊本	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
鹿兒島	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		
那覇	前日十時		
	前日六時		
	前日二時		

天氣

區域	前後	天氣
函館	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
室蘭	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
宮城	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
高崎	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
東京	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
横浜	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
新潟	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
名古屋	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
大阪	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
岡山	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
山口	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
高知	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
福岡	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
佐賀	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
長崎	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
熊本	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
鹿兒島	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴
那覇	前日十時	快晴
	前日六時	快晴
	前日二時	快晴

○全國氣象摘要　一月十七日午後十時　氣壓ハ釜山ニ於ケル七百六十六粍ヨリ鋼走ニ於ケル七百五十一粍ノ間ニアリテ溫度ハ宮崎ノ十度ヨリ上川ノ氷點下十一度ニ及ヘリ○西方ノ風吹キ晴天ナレトモ北西海岸ハ雪降レル所アリ◉一月十八日午前六時　氣壓ハ西部ニ微降シタレトモ東部ハ上昇シテ其示度ハ釜山ニ七百六十五粍、根室ニ七百五十二粍ナリ○南部ハ區々ノ風、北部ハ西方ノ風吹キ晴天ナレトモ九州ノ西部ハ所ニヨリ雨、北西海岸ハ雪降レリ○九州ノ南部ハ溫度八度、網走ハ氷點下十三度ヲ報セリ◉一月十八日午後二時　晴雨計ハ概ネ下降シテ其示度ハ朝鮮ヲ通シテ七百六十四粍根室ニ七百五十粍ヲ示セリ○北乃至西方ノ風吹キ晴天ナレトモ九州ノ南部ハ所ニヨリ雨、北海道ハ少雪降レリ○沼津ハ溫度十一度、上川ハ氷點下十二度ナリ

（中央氣象臺）

○全國天氣豫報　一月十九日分　自一月十八日午後六時　至一月十九日午後六時

（一）ヨリ四、（六）北又ハ西ノ風、晴レ（五、七）北又ハ西ノ風、概ネ曇リ但シ雨又ハ雪模樣アリ

○東京地方天氣豫報　一月十九日分　自一月十八日午後六時　至一月十九日午後六時

北ノ風晴レ

（以上二件中央氣象臺）

正誤

本月十二日本欄八六頁地震報告ノ項下段八行六時四十八分零一秒ハ六時四十五分〇十七秒ノ中央氣象臺報告誤

○廣告

○四日市米廩倉庫貸下

十九棟

一土藏造倉庫　此建坪千四百二十坪

一木造付屬舍　五棟　此入札保證金五圓　此建坪二百二十二坪五合二勺四才

右借受望ノ者ハ入札規則契約書案（大阪稅關四日市出張所竝ニ當課用度掛ニアリ）及現場トモ熟覽ノ上來ル二月二日午前十時當課用度掛ヘ入札書差出スヘシ　但シ同日開札

此契約ハ大藏大臣官房第四課長山本豐躬擔任ス

明治二十七年一月十九日　大藏大臣官房第四課

○檢定教科用圖書

尋常小學校習字科生徒用

小學校習字帖尋常科用　全八冊　定價金三十六錢

明治二十六年十二月二十一日再版發行

編者　東京府教育會

發行者　東京府東京市深川區深川公園地四十三號東京府平民　廣岡　幸助

發行者　東京府東京市日本橋區南傳馬町一町目十二番地東京府平民　吉川　牛七

發行者　東京府東京市日本橋區通鑓町八番地東京府士族　宮川　保全

小學校習字帖尋常科　全八冊　定價金二十四錢

自第一年上至第四年上　明治二十六年二月八日出版

至第四年上　明治二十六年二月八日出版

第四年下明治二十六年十二月二十一日訂正再版發行

編者　東京府教育會

發行者　東京府東京市日本橋區本町三町目八番地東京府平民　大橋　新太郎

小學校習字帖尋常小學校用　全八冊　定價金三十四錢

明治二十六年十二月十九日訂正發行

編纂者　東京府平民　久保田　貞則

發行者　東京府東京市日本橋區本町四町目十六番地東京府士族　小林　義則

高等小學校習字科生徒用

小學校習字帖高等科　全八冊　定價金三十二錢

年上第一年上至第三　明治二十六年三月六日出版

年上第四年上下

第三年下明治二十六年十二月二十一日訂正再版發行

編者　東京府教育會

發行者　東京府東京市日本橋區本町三町目八番地東京府平民　大橋　新太郎

小學校習字帖高等科用　全八冊　定價金四十四錢

明治二十六年十二月二十一日再版發行

編者　東京府教育會

發行者　東京府東京市深川區深川公園地四十三號東京府平民　廣岡　幸助

發行者　東京府東京市日本橋區本町一町目十二番地東京府平民　吉川　牛七

發行者　東京府東京市日本橋區通鑓町八番地東京府士族　宮川　保全

小學校習字帖高等科　全八冊　定價金二十四錢

自第一年上至第四年上　明治二十六年二月八日出版

第四年下明治二十六年十二月二十一日訂正再版發行

編者　東京府教育會

發行者　東京府東京市日本橋區本町三町目八番地東京府平民　大橋　新太郎

小學校習字帖尋常小學校用　全八冊　定價金三十四錢

明治二十六年十二月十九日訂正發行

編纂者　東京府平民　久保田　貞則

發行者　東京府東京市日本橋區本町四町目十六番地東京府士族　小林　義則

高等小學校習字科生徒用

小學校習字帖高等科　全八冊　定價金三十二錢

年上第一年上至第三　明治二十六年三月六日出版

年上第四年上下

第三年下明治二十六年十二月二十一日訂正再版發行

編者　東京府教育會

發行者　東京府東京市日本橋區本町三町目八番地東京府平民　大橋　新太郎

小學校習字帖高等科用　全八冊　定價金四十四錢

明治二十六年十二月二十一日再版發行

編者　東京府教育會

發行者　東京府東京市深川區深川公園地四十三號東京府平民　廣岡　幸助

發行者　東京府東京市日本橋區南傳馬町一町目十二番地東京府平民　吉川　牛七

發行者　東京府東京市日本橋區通鑓町八番地東京府士族　宮川　保全

小學校習字帖女子之部　全八冊　定價金二十四錢

明治二十六年十二月二十一日再版發行

編者　東京府教育會

發行者　東京府東京市深川區深川公園地四十三號東京府平民　廣岡　幸助

發行者　東京府東京市日本橋區南傳馬町一町目十二番地東京府平民　吉川　牛七

發行者　東京府東京市日本橋區通鑓町八番地東京府士族　宮川　保全

小學校習字帖高等科用　全八冊　定價金四十四錢

明治二十六年十二月二十一日再版發行

編者　東京府教育會

發行者　東京府東京市深川區深川公園地四十三號東京府平民　廣岡　幸助

發行者　東京府東京市日本橋區南傳馬町一町目十二番地東京府平民　吉川　牛七

發行者　東京府東京市日本橋區通鑓町八番地東京府士族　宮川　保全

小學校習字帖女子之部　全八冊　定價金四

第一二號　同　四十五圓五十錢
一大麥二百六十石
第一三號　同　四十四圓
一大麥二百五十石
右ハ近衛騎兵砲兵輜重兵隊所用ニシテ近衛師團糧餉部ノ指示スル隊ヘ分納スルモノ
第一四號　陸軍大學校所用　同　十四圓五十錢
一大麥八十一石
第一五號　陸軍士官學校所用　同　九十三圓五十錢
一大麥五百三十二石
第一六號　陸軍乘馬學校所用　同　五十四圓
一大麥三百八石二斗二升
第一七號　陸軍砲兵射的學校所用　同　三十一圓
一大麥百七十五石二斗
第一八號　陸軍教導團所用　同　百十圓
一大麥六百二十四石六斗
第一九號　陸軍乘馬學校所用　同　十圓
一秣三千九百九十六貫目
一藁二千百三十五貫七百目
但シ入札者ハ二箇年以上當該營業ニ從事スル者ニ限ル

右競爭ニ附シ購買ス入札望ノ者ハ來ル二月一日ヨリ同五日マテノ內午前九時ヨリ午後三時マテ(休日ハ除ク)近衛師團糧餉部ヘ出頭シ入札心得書竝ニ契約書案標本等熟覽ノ上同月六日午前十時マテニ入札書同部入札函ヘ投入スヘシ(同時開札)

此契約取結ハ近衛師團監督部長新山春太郎擔任ス

明治二十七年一月十九日　近衛師團監督部

一東京砲兵工廠板橋棉火藥製造場工場及付屬家廻リ敷設用輕便レール付屬品トモ　此入札保證金六十二圓五十錢

右購買ス請負望ノ者ハ本月十九日ヨリ同三十一日マテノ內午前八時ヨリ午後五時マテ當廠營繕掛ヘ出頭圖面仕法注文書竝ニ入札人心得書契約書案トモ熟覽ノ上來ル二月一日午前十時三十分限入札スヘシ開札ハ同日午前十一時トス

但シ請負望ノ者ハ二箇年以上該營業ニ從事シタル證明アル者ニ限ル

此契約主東京砲兵工廠提理竹橋尙文

明治二十七年一月十七日　東京砲兵工廠

○公示催告

京都府京都市上京區大宮通寺之內下ル貳町目東ヘ入大北小路町貳拾參番戶平民織物業申立人　濱部儀八郎

一第貳百拾壹號送金手形額面八百圓　壹葉
明治二十六年十二月三十日附
一第貳百拾壹號送金手形額面壹百圓　壹葉
明治二十六年十二月三十一日附
但右貳葉トモ東京第百國立銀行支配人池田謙三ヨリ京都商工銀行宛テ滾部儀八郎又ハ持參人拂

右送金手形ノ所持人ハ明治二十七年七月三十一日午前第八時マテニ當區裁判所ニ權利ヲ屆出テ且此手形ヲ提出ス可シ若シ右期日マテニ其屆出ヲ爲サス且ツ之ヲ提出セサルニ於テハ其無效タル可キコトヲ宣告ス可シ依テ此旨催告ス

明治二十七年一月十六日　京都區裁判所

華族從三位子爵大久保忠禮所有左ノ物品ヲ以テ世襲財產附屬物ト爲シ度旨願出候條該物品ニ對シ故障アル者ハ來ル二月二十五日マテニ當局ヘ申出ヘシ
但物質形狀等詳知致度者ハ當局世襲財產掛ヘ申出ヲヘシ
明治二十七年一月十九日　爵位局

物品目錄
長義太刀一、正宗短刀一、大進法師祐慶短刀一、月山太刀一、盛光太刀一、守家太刀一、信國脇差一、菊一文字太刀一、忠廣太刀一、貞宗太刀一、備前元重太刀二、行光太刀一、秀光太刀一、眞長太刀二、宗正太刀一、近景太刀一、守行太刀一、倫光太刀一、助眞太刀一、兼國太刀一、吉光短刀一、來國次短刀一、包永小脇差一、助吉脇差一、水戶齊昭短刀一、兼清脇差一、馬印一對、蝶形兜鍬一、鍬鎧一組、虎皮鞍覆一、硯一、德川家康書幅一、東崇畫幅一、呂紀畫幅一、梅道人畫幅一、趙子昂畫幅一、陸復畫幅三、牧溪畫幅二、古永德畫幅一、洗石田畫雙幅、呂紀畫雙幅、謝晉畫雙幅、古法眼畫三幅對、探幽畫三幅對、定家卿書卷物一、陳道復書畫卷物一、近衛信尹書土佐光高畫卷物二、手鑑二

○日本郵船會社汽船橫濱出發表

明二十日　午後一時　敦賀丸　四日　市行
明後二十一日　正午十二時　仙台丸　神戶行
同　日　午後一時　高砂丸　四日　市行
本月二十二日　午前十時　伊勢丸　荻ノ濱行
同　日　午前十一時　近江丸　荻ノ濱行　函館小樽行
同　日　正午十二時　昭後丸　神戶行
同　日　午後四時　品川丸　函館行
同二十三日　正午十二時　横濱丸　神戶行　長崎上海香港新嘉坡行
右橫濱丸ハ本月二十六日神戶發下ノ關ヘ孟買行ノ廣島丸ニ接續ス
同二十四日　正午十二時　長門丸　神戶行

○孟買行

屬國丸　本月二十六日午前四時神戶出帆下ノ關、香港、新嘉坡、「コロムボ」寄港
橫濱ヨリハ本月二十三日正午十二時發ノ橫濱丸ヲ之ニ接續ス

○郵便船出發表

○今十九日英船「ヴエロナ」號以テ香港印度歐洲ヘノ郵便物締切時刻爲替　書留　府下支局　午後七時半
○本月二十二日午前四時四十八分本局締切神戶迄汽車送同地ニ於テ玄海丸ニ積込ミ釜山仁川ヘ向ケ郵便差立　本局　午後十時　横濱郵便電信局　二十日午前八時
○同日頃桑港及歐洲ヘノ郵便物締切ノ筈　二十日午前八時半
明治二十七年一月十九日　東京郵便電信局

○附錄　本日警視廳東京府公報四頁東京府下ヘ配付ス

明治二十五年三月三十一日郵信省認可（二二）　印刷局印

特 3165 5 本文